

NGOトーク
理事が聞く

フィリピン人当事者による 在日フィリピン人支援を

フィリピン人移住者センター(FMC)代表 バージ 石原さん、ボランティアスタッフ 後藤 美樹さん & (特)名古屋NGOセンター理事 市野 将行

地域に密着して活動

市野 どういった活動をしているのでしょうか。

石原 14年前にFICAPという名古屋に住むフィリピン人女性を支援する団体を立ち上げました。その後、男性も含めて支援するためにFMCに名称変更しました。栄のマンションの一室を借りて、主に地域のフィリピンの方向けの個別相談を行っています。中区役所や領事館と連携することも多いです。外国人をめぐる法律は複雑で、弁護士や行政書士の先生と一緒に何ができるかをいっしょに考えています。また、トヨタ財団の助成を受けてDV当事者を支援するための研修やハンドブックを作ったりしています。

一方で栄東まちづくり会という地元の団体と10年以上連携していて、掃除を一緒にやったり池田公園のお祭りに出させてもらったりしています。スタッフは4名いますが全員ボランティアスタッフです。

後藤 私は設立2年目から活動しています。別の在日外国人支援団体にかかわっていてタガログ語が少しできるので活動を始めました。私も事務局スタッフの一人として、事業に関わっています。またイベント時には通訳も行いますし、出生証明書など、フィリピンの方が役所に提出する文書の翻訳も担当しています。

子育て支援に 比重が高まる

市野 日本に住むフィリピンの方はどのように暮らしているのでしょうか。

後藤 日本には約20万人の、そのうち愛知県には2~3万人のフィリピンの方が住んでいますが、圧倒的に女性が多いですね。ブラジルやペルーなど他の外国から来た方と違い、日本人と結婚している方がほとんどです。そのため必要な支援も異なっています。

定期的にコンサートを開くなど、フィリピンの方が楽しめる社会にすることを心がけています。またカトリック教会とかかわりの薄いフィリピンの方も増えてきているので、そういった方のためのセーフティネットという役割もあります。

円満な家庭を築いている方も多い一方で、ひどいDV(家庭内暴力)を受けている方もいます。被害は日本人と同じよ

うでも、日本語が上手ではないので暴力を受けて落ち着いて話せない状態で警察や行政に相談しても、なかなか解決にはいたりません。また離婚したら日本には住めなくなる場合が多いので、我慢して泣き寝入りをする方も多いのです。そのため私たちが通訳や法的支援などを行っています。

石原 10年ほど前にフィリピンバブが社会問題になったことにより、政府はエンターテイナー(興行ビザ)の発給を大幅に制限しました。2004年には年間8万人がエンターテイナーとして来日していたのに、わずか数年後には年間8,000人程度に激減したのです。そのため、今は独身の若い方は少なく、母親世代が増えています。80年代に日本で生まれた日系フィリピン人の方も多いですね。

市野 子どもも大きくなっている頃ですね。

石原 成長するにつれてお子さんの間



2013年愛知県多文化共生推進功労者として、FMCが表彰されました。

名古屋地域には多くのフィリピンの方が暮らしています。そういった方たちの支えになるのがフィリピン人移住者センター(FMC)です。栄のマンションのオフィスで思いをお聞きました。



いちの まきゆき
市野 将行



いしはら
バージ 石原さん



ごとう みき
後藤 美樹さん

題が大きくなっていますね。そのため、今年は子どものためのフォーラムを行う予定です。結婚生活が不安定でシングルマザーの方も多いですし、子どもが産まれたらいったんフィリピンの親族に預かってもらって、日本での生活が安定したら日本に呼び寄せる人も多いのです。

いじめにあったり、日本語の学習能力の問題や、生活習慣の違いもあります。何かできないかなと思ひ、エンパワーメントする場を設けることにしました。

今後はさらに 発信できるように

市野 後藤さんは日本人としてかかわっていますか。

後藤 多文化共生の活動には、最近、関心をもって積極的に関わって下さっている若い世代も増えました。一方で、もっと当事者であるフィリピンの人たち

が発信できる場があればいいかと。そして、活動にもフィリピンの方が主体的に関われるようになるといいと思います。

私たちは、日本人とフィリピン人がコミュニケーションが取れることを目指しています。ただ、長く活動をしていても同じ境遇でないと分かり合えないところもありますね。ですから、結束が大切です。お互いが支えあっているという関係をめざしています。

市野 今後どんな風になるといいですか？

石原 フィリピン社会も組織的になるべきだと思いますね。日本に住むコリアンやブラジル人のように主張できるコミュニティにあるといいですね。また、なぜ日本に来るのかという背景には日本とフィリピンとの経済格差という大きな問題があります。フィリピン国内の制度をきちんとさせるためには、フィリピン政府だけではなく、草の根の運動も大事で

す。FMCはフィリピンの様々なNPO 団体と連携して活動しています。

もっと、フィリピン人女性をエンパワーしたいです！フィリピン人とくに女性たちにどんな権利があるか、もっと知ってもらいたい。そして日本社会で胸をはって生きてほしいと思います。

後藤 在日フィリピン人という偏見の目で見てしまう日本人の方もまだまだ多いように思います。最近のフィリピン事情が、日本人にあまり知られていないのも原因ではないでしょうか。確かに貧しい村もあるのですが、高級なホテルやレストランもあります。とはいっても、最近の大学生は英語の語学留学のためにマニラに長期滞在する方も多いですし、今の小学生にはクラスメートにフィリピン人がいることも珍しくなくなりました。親の世代の方が偏見があるかもしれませんね。

市野 どうもありがとうございました。



2011年に開催された
「あなたの地域について知ろう！
(Know Your Community)」
労働者の権利についての講義に
ついて聞き入る参加者

団体概要

フィリピン人移住者センター (Filipino Migrants Center)

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄4丁目15-14
栄ハイホーム616
TEL:052-242-8360